

Weekly Reports 2025-2026



国際ロータリー第2680地区
加古川ロータリークラブ

2025-26年度 RI会長: フランチェスコ・アレツツオ/地区ガバナー: 城 守
加古川ロータリークラブ会長: 松尾 將勝 /幹事: 船原 太郎
〒675-0064 兵庫県加古川市加古川町溝之口800番地 加古川商工会議所会館5F
TEL 079-423-0661 FAX 079-423-0677 e-Mail kakogawa@rotaryclub.ne.jp

令和8年1月20日(火) No. 24



▲会長挨拶



▲司会の船原幹事



▲委嘱状贈呈

会長の時間

会長 松尾 將勝

皆さん、こんにちは! 1月もあっという間に20日になります、二十四節気(にじゅうしき)の大寒(だいかん)ということで、一年で一番寒さが厳しいと言われる通りで、とんでもない寒波が来ています。お風邪など召されない様に体調管理に留意して頂きたく存じます。

さて、昨日、高市総理が衆議院を解散すると表明されて、年始早々、衆議院選挙がスタートすることになりました。ロータリーでは、特定の政党、政治家の話はタブーですので、違った角度から選挙の話をします。衆議院選挙に掛かる費用は、財務省によると、前回、2024年の総選挙で、費用総額が728億円8000万円でした。内訳は、総選挙及び最高裁判所裁判官審査の必要な経費720億9680万円、次に、有権者に投票を呼び掛けるポスター製作費等の啓発推進に必要な経費が5億5877万円、3つ目は、余り知られていませんが、海外に住む有権者が投票する為の在外選挙に必要な経費が2億2538万円となっております。全額税金です。18歳以上の有権者は、1億600万人ですので、割り算すると、1人当たり約700円掛かっていることになります。

大阪では、知事、市長選挙とのトリプル選挙らしいですが、大阪のおばちゃんに、今回の選挙、これに掛かる費用についてのインターでは、皆さん「なんで今やねん、どこが身を切る改革や」と、ボヤかれていますが、その通りと思います。いずれにしろ、喫緊の課題の物価高対策、社会保障改革、外国人政策、安全保障問題等の重要課題を早急に進めて頂きたく存じます。

結びになりますが、本日の例会は、クラブ協議会とと言うことで、各委員会の前半の活動報告、後半の事業予定を発表して頂くことになっておりますので、よろしくお願ひします。以上で会長の時間とさせていただきます。本日もよろしくお願ひいたします。

幹事報告

I) ☆他クラブ例会変更のお知らせ

高砂RC 2月13日(金) ⇒ 14日(土)東播第2グループI.M. 14:30~受付
於: 加古川プラザホテル2階

2月27日(金) ⇒ 休会【定款第7条第1節(d)】

高砂青松RC 2月11日(水) ⇒ 祝日

2月18日(水) ⇒ 14日(土)東播第2グループI.M. 14:30~受付
於: 加古川プラザホテル2階

高砂青松RC 2月25日(水)⇒ 休会【定款第7条第1節(d)】
加古川中央RC 2月19日(木)⇒ 14日(土)東播第2グループI.M. 14:30~受付
於;加古川プラザホテル
2月26日(木)⇒ 休会【定款第7条第1節(d)】
加古川平成RC 2月13日(金)⇒ 14日(土)東播第2グループI.M.のため
於;加古川プラザホテル2階
2月20日(金)⇒ 例会取消【定款第7条第1節(d)】
2月27日(金)⇒ 例会取消【定款第7条第1節(d)】

- 2) BOXに加古川はぐるま福祉会より「会報はぐるま」、ガバナー月信、ハイライトよねやまを入れております。会報はぐるまの8ページに(株)前川建設様の記事が掲載されておりますのでご覧ください。
- 3) 本日例会終了後、B1特別室に於いてI.M.検討委員会を開催しますので、関係者はご出席の程お願いいたします。

ニコニコ



- 省 略 ☺ 本日のクラブ協議会、よろしくお願ひします。
- 省 略 ☺ たくさんの写真ありがとうございます。
- 省 略 ☺ 本日のクラブ協議会、宜しくお願ひ致します。写真有難う御在います。
- 省 略 ☺ 写真ありがとうございます。
- 省 略 ☺ 写真ありがとうございます。
- 省 略 ☺ 写真のお礼 有難うございます。
- 省 略 ☺ 写真ありがとうございます。
- 省 略 ☺ 松尾会長、先日は有難うございました。
- 省 略 ☺ 写真有難うございます。
- 省 略 ☺ 写真ありがとうございます。
- 省 略 ☺ 写真ありがとうございます。
- 省 略 ☺ 松尾会長、13日はありがとうございました。写真ありがとうございます。
- 省 略 ☺ 写真ありがとうございます。
- 省 略 ☺ 写真ありがとうございます。
- 省 略 ☺ 写真ありがとうございます。
- 省 略 ☺ 先日は立派なお花ありがとうございました。
- 省 略 ☺ 写真ありがとうございます。

省 略 ☺ お正月3が日は好天に恵まれまして、
たくさんの方にお参りいただきました。本年もよろしくお願ひ致します！

省 略 ☺ 写真ありがとうございます。

省 略 ☺ 会長、先日はごちそうになり、ありがとうございました。
写真ありがとうございます。

省 略 ☺ 松尾会長、先日はごちそう様でした。写真ありがとうございます。

省 略 ☺ 天覧相撲の大波乱はおどろきました。写真ありがとうございます。

省 略 ☺ 写真ありがとうございます。

省 略 ☺ お花いただきます。

以上36件 ¥41,500-
本年度累計¥1,209,000-

出席委員会

☆ 今 週 会員数73名 出席46名 出席免除10名 欠席17名
☆ 欠 席 者 省略
☆ 前 々 週 会員数73名 出席61名 出席免除10名 欠席2名

親睦活動委員会

例会場当番

1月27日(火) 中村・中原
2月 3 日(火) 岡田・中尾

プログラム委員会

本日1月20日(火)	1月27日(火)	2月3日(火)	2月10日(火)
クラブ協議会 (前半期の報告)	優良職業人表彰 職業奉仕委員会担当	卓話 「みんなで仲良くナンプレ」 大野会員担当	例会取りやめ 〔定款第7条 第1節(d)(1)〕

インパクトある活動と
「世界をオープンに受け入れる」ことを
国際ロータリー会長エレクトが強調



「持続可能なインパクトを生み出そう」とオンラインカ・ババロラ氏
が会員に呼びかけ

1月12日、米国フロリダ州オーランドで開催中の国際協議会でオンラインカ H. ババロラ国際ロータリー会長エレクトが講演し、クラブでの歓迎的な環境づくり、意義あるプロジェクトの実施、人生を変えるようなロータリーでの体験を通じて、「持続可能なインパクトを生み出そう」と呼びかけました。

「ロータリーは私たちを変えました。私たちという人間を形づくり、より良い人間にしてくれたのです。私たちは“世界を変える”ことをよく話題にします。ポリオ根絶や平和構築について語ります。しかし、ロータリーが自分自身をどう変えたかについては、あまり考えません」

ナイジェリアのトランス・アマディ・ロータリークラブの会員であるババロラ氏は、十代のときにローターアクトクラブで活動したことが、恵まれた環境で育ったことによる狭い視野から抜け出し、より広い世界を見るきっかけになったと語りました。その気づきは、地域社会の人びとに読み書きを教える活動など、クラブが生み出したインパクトを目のあたりにしたことでもたらされました。

「ロータリー会員である私たちは、より良い未来というビジョンを共有しています」とババロラ氏。「そのビジョンを現実にするには、自身の内なる変化を意識し、解き放たなければなりません。成果だけでなく、インパクトを重視すべきです」

変化とインパクトは同じではない、と述べた上で、ババロラ氏はこう続けました。「変化は始まりに過ぎません。インパクトこそが永続するのです」

インパクトを理解する

ババロラ氏は、南アフリカ・ナイズナでの幼児教育の拡充や、ナイジェリアでの妊産婦ケアの改善など、ロータリー会員がインパクトを生み出していると述べました。ナイズナ・ロータリークラブは、地域の女性たちが幼児教育センターを開設・運営できるよう支援しました。

「このプロジェクトは何千もの子どもと家庭に恩恵をもたらし、今後何世代にもわたって教育を提供し続けるでしょう」とババロラ氏。「このインパクトを世界のほかの地域でも再現できれば、地域社会から信頼と評価を得ることができます。そして、より多くの地域社会がロータリーを信頼すれば、入会したいという人が増えます」

また、「ナイジェリアにおける健康な家族のための協力」の幅広いインパクトにも触れました。妊産婦と新生児の死亡率を減らすこのイニシアチブは、2022年に200万米ドルの大規模プログラム補助金を受領しました。

ババロラ氏はこう説明します。「ロータリーが介入する前は、多くの女性が妊婦健診を避けていました。しかし、健診は母子ともに安全な出産に欠かせません。ロータリーの支援により、妊婦が健診に通うシステムが整い、地域社会からの協力も得られました。受診率がアップし、死亡率が下がりました。このプロジェクトは今後数十年にわたり、ナイジェリア全土で命を救い続けるでしょう」

より歓迎的な姿勢を

クラブの新しい入会者に対してよりオープンに歓迎するよう呼びかけたババロラ氏は、ローターアクト時代にロータリークラブに入りたいと思ったものの、クラブ会長から冷たい対応を受けた自身の経験について語りました。

「彼（クラブ会長）はこう言いました。“何という厚かましさだ！ただ入会できるわけがないだろう。招待が必要だ”、と」とババロラ氏は振り返ります。「そこであきらめることもできましたが、私はこう言い返しました。“子どもが親の家に入るのに招待が必要だとは知りませんでした”」

当時と比べれば良くなったものの、まだ十分ではないとババロラ氏。一部のクラブは世界をオープンに受け入れるどころか、閉ざされたままであり、若い人たちが尊重されず、考え方や背景が異なる人が歓迎されないこともあると述べ、人びとをよりよく受け入れるにはどうしたらよいかを考えるよう促しました。

「例会や奉仕プロジェクトでの皆さんの態度ひとつで、誰かのロータリーのストーリーが始まるかもしれないし、終わるかもしれないのです」

さらに、自身の変化を促すもう一つの方法は、自分のベストを超えることだと述べました。過去の募金活動やプロジェクト、会員増強の成功を振り返り、それを超えるべくさらに挑戦するよう地区リーダーに呼びかけました。

「自分を変えられれば、クラブと地区を変えられます。地区を変えられれば、地域社会を変えられます。そして、地域社会を変えられれば、世界で、地域社会で、自分自身の中で、持続可能なインパクトを生み出すことができるのです」